

D”層シンポジウムの御案内

岡山大学地球物質科学研究センター（地球研）では、来年3月下旬に表記のシンポジウムを開催いたします。

岡山大学地球研ホームページ：<http://www.misasa.okayama-u.ac.jp/jp/>

●日程：2014年3月21日午後－22日午前（21日は祝日、22日は土曜日）

●場所：地球研会議室（鳥取県東伯郡三朝町）

●趣旨：地球研高圧グループは、本年7月のSP8実験において、焼結ダイヤモンドアンビル川井型装置（SD-KMA）により109GPaの圧力発生を確認しました。SD-KMAによる百万気圧達成として記念すべきものですが、地球科学的には“ポストペロブスカイトの安定領域に達した可能性がある”という点が重要です。本当にポストペロブスカイトの安定領域に達したかどうかは今後の検証が必要ですが、そろそろ、“SD-KMAでのD”層研究”を現実の研究課題として検討すべき段階になったと考えております。そこで、今後のD”層研究の展開を考えるためのシンポジウムを企画いたしました。関連分野研究者（高圧研究者、地震学者、シミュレーション研究者等）を招集し、D”層研究の現状を再確認し、今後のD”層物質科学研究への指針を得たいと考えております。本シンポジウムは国内シンポジウムと位置付けております。

●プログラム案：講演は一人30分で統一。全体で10-15講演程度。現在、高圧以外の分野の5名の方に講演をお願いし、4名の方から承諾をいただいております。

田中 聡（JAMSTEC、地震学）

竹内 希（地震研、地震学）

高橋 太（東工大、シミュレーション）

河合研志（東工大、地震学+物性学）

●参加費：無料、但し、21日夜の懇親会、22日の昼食（弁当）の費用負担をお願いいたします。

●旅費の補助：申込み時に希望をお知らせください。可能な限り対応いたします。

- 参加申し込み：申込書に必要事項を記入し、米田まで送信お願いいたします。

D” 層シンポジウム参加申込書（締め切り：2014年2月末）

送付先：岡山大学地球物質科学研究センター、米田
yoneda@misasa.okayama-u.ac.jp

- 氏名、所属、身分

- 講演希望： する・しない
“する”の場合は、その概要（200字程度）を添付。

- 旅費補助の希望： 希望する・不要・どちらでもよい

- 懇親会： 参加する・参加しない

近隣の溪泉閣(<http://www.keisenkaku.com/>)で開催する。

職員 5000 円、学生 3000 円程度を予定

- 二日目の昼食弁当： 希望する・希望しない
弁当代金は500円。総合討論の時間を確保するため、希望しない方も各自センター内で昼食を取れるよう準備をお願いいたします。
- ゲストハウス宿泊： 希望する・希望しない
希望する場合、個室希望か、大部屋でもいいか、お知らせください。
また、ゲストハウスで収容しきれない場合は、懇親会場でもある溪泉閣を斡旋する予定です。